

的矢湾アマモモニタリング状況

調査地点：坂崎

方 式：マット方式

調査日時：令和3年7月19日

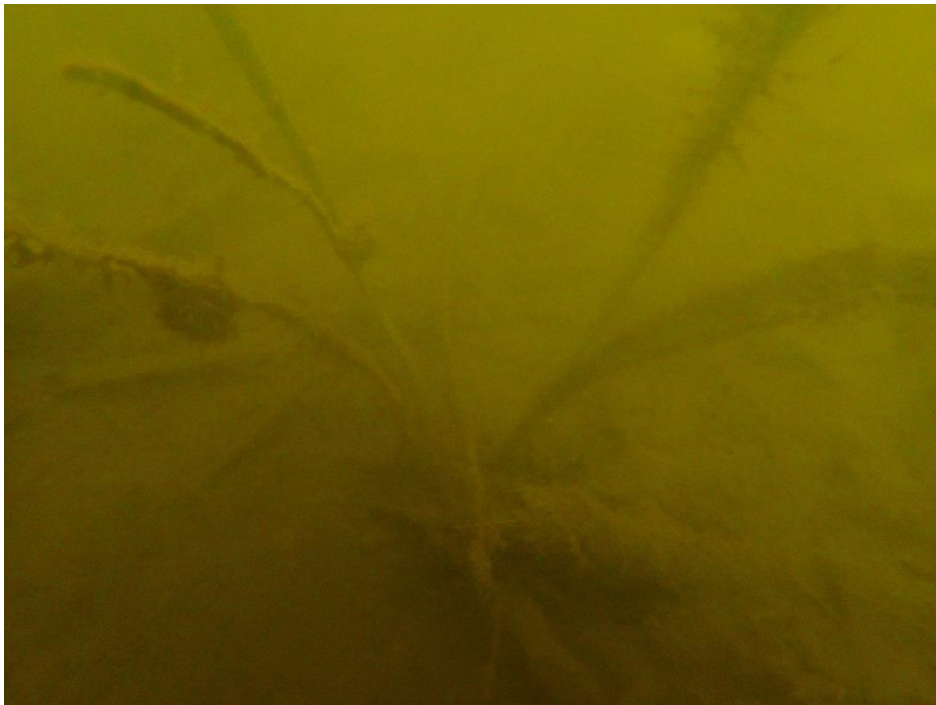
アマモの様子：体高70 cm以上

港外西側海底はこれまで同様、多量の枯れ葉・竹類・流木などで覆われており、アマモは確認できなかった。

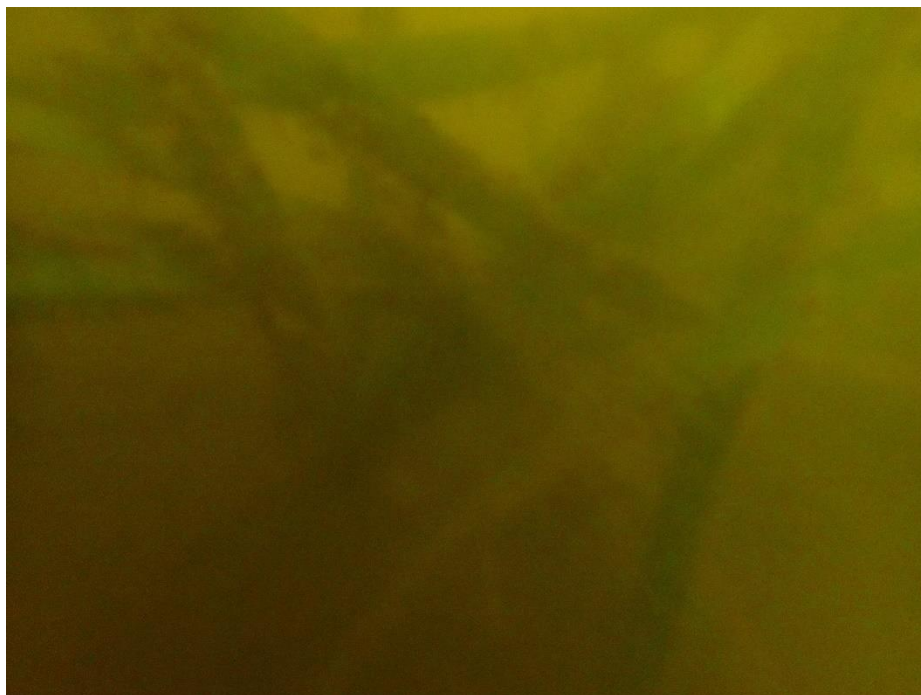
港内では、マット状にラインを設置し地点ごとの生育状況を確認。南側から14m地点までは点在程度しか確認できなかったが、この地点以降は密な状態の分布が認められた。体高は前回調査の5月24日時点では50 cm以上であったものが、70 cm以上まで成長していた。今回の調査では、種を作る「花穂（かすい）」は確認できなかった。

アマモの分布は水深の浅い方に多い傾向がみられた。
泥の堆積は、マット上で平均5～8センチ。

港内地点



港内地点



港外西地点



的矢湾アマモモニタリング状況

調査地点：オガエ

方 式：マット方式

平成 30 年度設置 マット

調査日時：令和 3 年 7 月 19 日

アマモの様子：確認できず

マット上の堆積は、安定した状態でこれまでと同様であり、南側で約 5～7 センチ、中央付近から北側は約 5 センチであった。

これまで堆積物が目立っていた南側について、今回はほとんどが枯れ葉と泥だけの状況になっており、今までのヨシや枝類の堆積物が見当たらなかった。

マット周辺



平成 29 年度設置 マット

調査日時：令和 3 年 7 月 19 日

アマモの様子：確認できず

29 年度設置のマットは存在するものの、その下部にアマモの根は確認することができなかった。

